

2025年度（令和7年度）

事業計画書（案）

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで



公益財団法人

苫小牧市スポーツ協会

2025年度（令和7年度）事業方針

私たちは、第5期指定管理期間に合わせ、「持続可能な組織となるための進化」をテーマにした5カ年の経営計画を令和6年度に策定しました。

令和7年度の事業計画作成にあたっては、この経営計画に基づき、市民の皆様が安全・安心にスポーツを楽しんでいただけるよう配慮しています。計画した目標の達成と検証、新規事業への挑戦、事業の見直しや廃止、収益向上を目指した新たな取り組みを進め、PDCAサイクルを実行しながら、職員一丸となって質の高い運営を目指します。

苫小牧市補助事業の実施においては、シニア世代や障がい者が参加できる競技や種目の設定、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくり、氷上スポーツの育成、スポーツによるSDGsの推進などを行うとともに、新たに苫小牧市から移管される事業についても、透明性のある正確な運営を進め、行政からの信頼を一層強化していきます。

指定管理施設の運営では、氷上スポーツ体験事業を通じて教育旅行や企業研修の誘致を行い、業務の標準化・システム化を推進するとともに、オールラウンダーな人材育成にも取り組み、利用人数の拡大や収益向上を目指します。

また、加盟団体やスポーツ少年団をはじめとする関連団体と連携し、地域のスポーツ振興に向けた課題や目標を共有し、協力体制を強化していきます。

今年度で10年目を迎える「苫小牧市スポーツ推進計画」では新たな計画が策定される予定であり、それに合わせて、5カ年の経営計画の中間見直しを行います。



2025年度（令和7年度）事業計画

1. 公益目的事業

公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業

本事業は、苫小牧市・苫小牧市スポーツ協会・競技団体が事業を主催し、スポーツに関する多様な事業を企画・実施することにより、地域のスポーツの普及振興を図り、広く市民にスポーツへの参加機会を提供する
※事業名（実施時期／参加見込）

ア. スポーツ大会等開催事業（定款第4条第1号事業）事業費15,083,000円

市民スポーツ祭など各種大会を実施し、中高生から一般まで幅広い年齢層を対象に体力の向上、競技力の向上を目的とした事業を開催する

(1) 市民スポーツフェスティバル

第57回市民バドミントン大会（9月／200名）

第44回市民ソフトテニス大会 中学2年生以下の部／一般の部（10月／320名）

第57回市民卓球大会（9月／200名）

第23回市民フロアカーリング大会（7月／40名）

第24回市民スポンジテニス大会（10月／50名）

第2回市民ポッチャ交流大会（11月／90名）

第9回苫小牧市民パークゴルフ交流大会（9月／200名）

第42回とまこまいマラソン大会（6月／1,500名）

とまこまいスポーツフェスティバル2025（10月／4,800名）

(2) 共催事業

JFAフットボールデー2025北海道 in 苫小牧（9月／700名）

第46回苫小牧市民ラグビー祭（10月／110名）

第52回苫小牧地区弓道選手権大会（9月／130名）

第51回苫小牧バレーボールまつり（9月～12月／650名）

(3) スポーツ大会開催事業

大鷲旗争奪第62回苫小牧朝野球大会（5月～9月／560名）

苫小牧北ロータリークラブ杯第25回Jrアイスホッケーチャレンジカップ（12月／80名）

第2回日本生命杯争奪少年野球大会（8月／320名）



イ. スポーツ教室・講習会開催事業（定款第4条第1号事業）事業費7,347,000円

幼児、児童、親子、一般、女子、高齢者など対象別に各種スポーツ教室、講習会を開催し、スポーツに関する学習の機会やスポーツへの動機づけ、基礎技術の習得、体力づくり、健康の維持増進の場を提供する

(1) スポーツ教室・講習会

運動会目前!!キッズかけっこ教室（5月/100名）

初級・中級テニス教室（6月/80名）

基礎から学ぶはじめての弓道教室(中学/一般)（6月～8月・9月～10月/220名）

アウトドアスポーツ体験教室（10月/30名）

市民ソフトテニス教室（10月～11月/70名）

TOMAKOMA I チャレンジスポーツクラブ（2月～3月/90名）

簡単・楽しく!!からだ変身!!運動教室（4月～2月/570名）



(2) 共催事業

市民アーチェリー教室（5月/10名）

(3) 氷上スポーツ育成事業

スケートエンジョイスクール 白鳥会場（12月～3月/1,120名）

スケートエンジョイスクール 沼ノ端会場（12月～3月/550名）

スケートエンジョイスクール 新ときわ会場（12月～3月/300名）

スピードスケート体験教室（10月～2月/350名）

展示室整備事業（通年）

広告フェンス取り付け事業（4月～6月）

(4) スポーツマスター派遣事業

佐藤久佳水泳教室（未定／30名）

大澤ちほアイスホッケー教室（未定／30名）（苫小牧市移管新規事業）



公1-2 スポーツ普及のための人材登録・紹介事業及び、競技力向上等事業

本事業は、スポーツ活動を続けていく上で重要な、スポーツ指導者やスポーツボランティアを登録及び紹介することを目的とした事業を実施する。また、競技力向上のための各種スポーツ講演会等の開催、競技団体活動助成を行う

ア. スポーツ人材登録及び紹介事業（定款第4条第2号事業）事業費127,000円

(1) TSPO人材バンク（通年）

スポーツ指導者やスポーツボランティアの人材登録を促進するとともに、当協会ホームページで登録指導者を紹介し、地域からの要望に応じ指導者、ボランティアの紹介を行う

- ①スポーツ指導者発掘及び登録紹介事業
- ②部活動指導者発掘及び登録紹介事業
- ③スポーツボランティア発掘及び登録紹介事業

(2) 中学校部活動の地域移行に関する事業

- ①苫小牧市教育委員会アイスホッケーの休日部活動指導に関する事業
- ②苫小牧市教育委員会部活動のあり方に関する検討委員会への参画



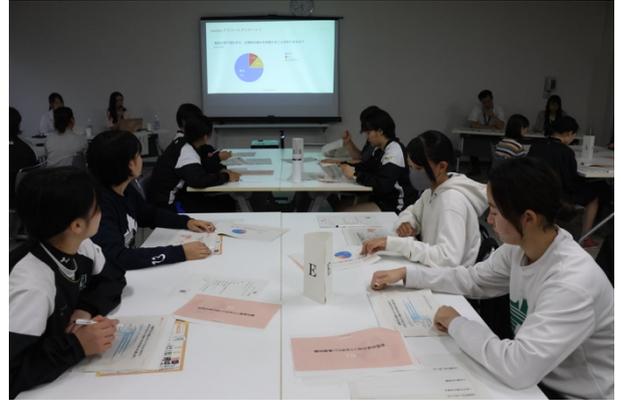
イ. 競技力育成強化等に関する事業（定款第4条第3号事業）事業費1,455,000円

(1) 加盟団体強化事業（通年）

加盟団体の競技力向上や普及を目的として、別に定める助成金要綱により、年に1回活動助成金の支給を行うとともに、全道・全国大会を誘致した加盟団体に対し、別に定める助成金要綱に基づき、大会助成金を支給する

(2) 講演会等開催事業（未定／30名）

競技力育成強化を目的とした講習会等を開催し、スポーツ活動に役立つ知識や最新の情報を、広く指導者・選手・一般愛好家に対し啓蒙していく



公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業

各地で開催される全国・全道大会に参加する際に遠征費の一部助成を行う。市内のスポーツ愛好者にスポーツに親しみ地域間でスポーツ交流できる機会を提供する。スポーツによる青少年の健全育成を目的とした各種事業を企画・実施しスポーツ少年団の育成を図る。苫小牧市内において特に顕著な功績のあった者を表彰する。

ア. スポーツ大会参加奨励に関する事業（定款第4条第5号事業）事業費17,840,000円

(1) 全道・全国大会参加助成事業（通年）

地区予選・推薦を経て苫小牧市の代表として、全道・全国・国際大会に出場するスポーツ少年団・小学生・中学生・高校生・大学生・一般に遠征費の助成を行う

(2) 全道・全国大会遠征費補助事業（苫小牧市移管新規事業）

地区予選・推薦を経て苫小牧市の代表として、全道・全国大会に出場する選手若しくは指導者に遠征費補助金を交付する

(3) 国際大会出場奨励金交付事業（苫小牧市移管新規事業）

世界規模のスポーツ大会に出場する者の栄誉を称え、活躍を祈念するとともに、市のスポーツ振興及びスポーツ活動に対する市民の意識高揚を図るため、国際大会出場奨励金を交付する

(4) 全国・全道スポーツ大会開催運営補助金（苫小牧市移管新規事業）

苫小牧市で開催される小学校、中学校、高等学校及び高等専門学校の学生を対象としたスポーツ競技の全国大会並びに全道大会の開催に必要な経費の一部に対し、補助金を交付する

イ. スポーツ少年団育成事業（定款第4条第6号事業）事業費1,494,000円

(1) 大会開催事業

各種競技の大会を開催する事でスポーツに親しむ機会を提供し、競技力の向上と青少年の健全育成を図る

第51回市長旗争奪少年野球大会（5月／340名）

第56回交歓大会兼第32回高沢杯争奪大会（9月／160名）

第23回本部長フットボールフェスティバル（10月／150名）

第53回スポーツ少年団剣道交流会（10月／150名）



(2) 少年団リーダー・指導者養成事業

各種研修会、交流会にスポーツ少年団員・指導者を派遣し、指導者育成、リーダー育成を図る
北海道スポーツ少年大会（未定）

北海道スポーツ少年団リーダー研修会（未定）

胆振管内スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会（未定）

苫小牧市スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会（3月／20名）

北海道スポーツ少年団指導者研究大会（未定）

スポーツリーダー兼少年団認定員養成講習会（未定）

苫小牧市スポーツ少年団指導者母集団研修会（3月／40名）

ウ. スポーツ功績者表彰に関する事業（定款第4条第7号事業）事業費886,000円

(1) スポーツ功績者表彰事業

苫小牧市のスポーツ普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「特別賞」「功労賞」「優秀賞」「奨励賞」「感謝状」を贈呈する

(2) スポーツ少年団表彰事業

苫小牧市スポーツ少年団の普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「育成功労賞」「スポーツ奨励賞」を贈呈する



公1-4 スポーツ（スケート競技）振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業

氷都苫小牧のスケート競技人口拡大のための普及事業や、競技力向上のための事業を開催、及び競技団体の事業を支援。指定管理者としてスケート競技の拠点施設である nepia アイスアリーナやダイナックス沼ノ端アイスアリーナの管理運営を行う事により、施設を活用した様々な教室やイベントを開催する事が出来る。

ア. nepia アイスアリーナ自主事業に関する事業（定款第4条第8号事業）

事業費 1,522,000円

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「nepia アイスアリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする

- ①水鏡見学会（4月／250名）
- ②シーズンオープニングイベント「REHスキルチャレンジ」（7月／100名）
- ③夏休み自由研究企画「アイスリンクの作り方」（7月／40名）
- ④小学生スケートスクール（7月～10月／160名）
- ⑤七夕企画「スポーツ短冊で夢を叶えよう！！」（7月～8月／200名）
- ⑥カジュアルホッケー（7月～3月／750名）
- ⑦フィギュアスケートゾーン（7月～3月／50名）
- ⑧スケート・アイスホッケー体験教育旅行誘致事業（7月～3月／5団体、200名）
- ⑨ナイトホッケータイム（7月～3月／300名）
- ⑩スケートワンポイントレッスン（7月～3月／50名）
- ⑪クリスマスイベント（12月／250名）
- ⑫大人のためのアイスホッケースクール（1月～3月／130名）
- ⑬大人のためのフィギュアスケートスクール（1月～3月／65名）
- ⑭スケート三種類体験会（1月～3月／50名）
- ⑮親子スケート体験会（1月～3月／30名）
- ⑯幼児・小学生アイスホッケー体験会（1月～3月／20名）
- ⑰貸スケート・スケート研磨事業（通年）



イ. ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業（定款第4条第8号事業）

事業費1,913,000円

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする

- ①水鏡見学会（4月／50名）
- ②シーズンオープニングイベント（6月／200名）
- ③カジュアルホッケー（6月～3月／1,200名）
- ④フィギュアスケートゾーン（6月～3月／50名）
- ⑤スケート・カーリング体験教育旅行誘致事業（7月～3月／5団体、200名）
- ⑥10月スケートスクール（10月／65名）
- ⑦11月スケートスクール（11月／65名）
- ⑧12月スケートスクール（12月／65名）
- ⑨1月スケートスクール（1月／65名）
- ⑩カーリング体験会（1月～2月／30名）
- ⑪お正月イベント（1月／200名）
- ⑫DYNAXアイスホッケースクール（2月／50名）
- ⑬貸スケート・スケート研磨事業（通年）



ウ. 施設の貸出しに関する事業（定款第4条第8号事業）事業費274,532,000円



nepia アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナの設置目的を踏まえ、各種競技大会、専用利用、研修会、レクリエーション、個人のトレーニング利用などに、アリーナ、会議室、トレーニング室の貸し出しを行う。施設の維持管理にあたっては「スポーツ施設管理士」「スポーツ施設運営士」の両資格を有する「上級スポーツ施設管理士」が11名おり、利用者の安全な施設利用のため万全を期している。貸出方法は、苫小牧市白鳥アリーナ条例及び規則、苫小牧市スポーツセンター条例及び規則、運用内規などに基づき利用の受付、貸出、利用

料金の徴収を行う。また、利用状況、利用の方法などについてはホームページで公表している

(1) 運営目標

- ①利用者の平等利用の確保（ユニバーサルサービスの充実）
- ②施設効用の最大化（開館日拡大、利用環境向上、システム化推進、新たな利用者発掘）
- ③安定的な管理体制（組織改革・人材育成、働き方改革、職員研修）
- ④管理経費の縮減（3Rで経費縮減、省エネの取組み、施設利用促進）
- ⑤具体的な目標（利用人数10万人以上、モニタリング評価90点以上）
- ⑥安全管理の対策（資格取得、火災等訓練実施、防犯対策、機器類整備の実施）
- ⑦団体運営と法令遵守（自主財源の拡大、スポーツ団体ガバナンスコード）

(2) 目標数値

①nepia アイスアリーナ目標数値（見込）

一般滑走	3, 200名
トレーニング室	11, 500名
リンク専用貸切	43, 500名
会議室専用貸切	5, 900名
催し物来場者	41, 700名
自主事業等	2, 000名
合計	107, 800名



②ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ目標数値（見込）

一般滑走	5, 900名
リンク専用貸切	55, 000名
催し物来場者	9, 100名
自主事業等	2, 050名
合計	72, 050名

2. 収益事業

物品販売等事業

本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業で、グッズの販売、大会写真販売など利用者サービスの一環として収益を得ることを目的とした事業を行う。

ア. 物販等事業（定款第4条第9号事業）事業費57,000円

- (1) 各種興行チケット販売事業
- (2) 写真販売事業
- (3) グッズ委託販売事業
- (4) リサイクルスケート靴販売・レンタル事業 [※検討中](#)

イ. その他事業

(1) 北海道盲導犬募金箱設置事業

管理施設窓口に北海道盲導犬協会募金箱を設置し利用者や職員からの善意を送金する

(2) 市内企業・団体と地域貢献活動

①nepia アイスアリーナ花壇整備事業

株式会社小金澤組、小学生アイスホッケー同好会連合会、レッドイーグルス北海道、公益財団法人 苫小牧市スポーツ協会による花壇整備事業を実施



②ダイナックス沼ノ端アイスアリーナガーデンロード事業

沼ノ端交流センター内北栄児童センターとの共同花壇整備事業を実施

(3) オリンピアン大澤ちほさんとのアドバイザー契約

「より一層魅力的なスケートの街とまこまいを作る！」をテーマに大澤ちほさんとのアドバイザー契約を結びスポーツ協会とともに以下の内容等について取り組む

①エンジョイスクールやスケート教室の実技指導

②選手対象スキルアップスクールなどの講師

③選手目線の施設利用者サービス向上策の提案

④スケート・アイスホッケー普及のための指導者育成やマニュアルの整備

⑤その他テーマ達成に必要なこと

(4) 広報活動について

①TSPO ホームページによる情報発信

②Facebook による情報発信について

③LINE アカウトを使用した情報配信

④X による情報発信について

⑤Instagram による情報発信について

(5) 苫小牧市アニメツーリズム事業について

①アイスホッケー漫画PR

北海道を舞台にした人気漫画「ゴールデンカムイ」の作者野田サトルさんの氷都苫小牧を舞台にした高校アイスホッケー漫画「ドッグスレッド」の連載が始まり苫小牧市、観光協会と協力し氷都苫小牧をPRする事業を実施する



(6) 苫小牧都市再生コンテンツ創造事業への参画

①レッドイーグルス北海道集客支援事業

プロジェクトの受託団体である苫小牧観光協会に協力し、スポーツ支援の部分でレッドイーグルス北海道集客支援について事業協力する

(7) 職員研修事業

①一般救命講習研修の開催（6月／20名程度）

急な事故や体調不良などで突然の緊急事態に直面した際、迅速かつ適切な応急処置を行うための基本的な技術を学ぶことを目的とした研修会を実施する。この研修を通じて、心肺蘇生法（CPR）やAEDの使用法、止血法など、命を救うために必要な知識と技能の習得を目指す

②日本公共スポーツ施策推進協議会研修会への参加（7月又は2月／2名）

上記協議会は、指定管理者制度の活用、地域の活性化、市民の安全性の確保及び情報通信の高度化等の活用事例を研究・情報共有し、国内の外郭団体の活性化と公共スポーツ施策の充実を図ることを目的に平成27年に設立され、当協会は平成30年度に加入し以来、職員研修の機会として職員を派遣

(8) 全国高等学校選抜アイスホッケー大会（苫小牧市移管新規事業）

2006年に第1回大会を開催し、これまで19回の歴史を重ねてきた大会であり「氷上の甲子園」と題し高校総体と並ぶビッグイベントとなった。第20回大会を迎える今年度より当協会が実行委員会事務局として大会運営を担う



2025年度（令和7年度）

収支予算書

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで



公益財団法人

苫小牧市スポーツ協会

令和7年度 公益財団法人苫小牧市スポーツ協会収支予算書
(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

単位：円

科 目	予算額	前年度 予算額	増減額	摘 要
I 収入の部				
1. 基本財産運用益	1,322,000	15,000	1,307,000	
基本財産運用収入	1,322,000	15,000	1,307,000	基本財産運用益の増
2. 事業収入	19,208,000	17,550,000	1,658,000	
(1) スポーツ大会開催事業収入	12,820,000	9,969,000	2,851,000	マラソン大会参加料収入、大会協賛金の増
(2) 自主事業収入	6,388,000	7,581,000	△ 1,193,000	事業見直しによる減
3. 利用料金収入	47,600,000	47,600,000	0	
(1) nepiaアイスアリーナ利用料金収入	29,500,000	29,500,000	0	
(2) ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ利用料金収入	18,100,000	18,100,000	0	
4. 受託事業収入	225,532,000	226,611,000	△ 1,079,000	
(1) 受託事業収入	225,532,000	226,611,000	△ 1,079,000	
nepiaアイスアリーナ指定管理費	168,064,000	168,922,000	△ 858,000	燃料費の減
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ指定管理費	57,468,000	57,689,000	△ 221,000	燃料費の減
5. 補助金収入	74,741,000	53,194,000	21,547,000	
(1) 苫小牧市	74,441,000	53,194,000	21,247,000	
スポーツ協会補助	54,382,000	49,975,000	4,407,000	
運営費補助	45,655,000	41,502,000	4,153,000	定期昇給、嘱託事務員の報酬額の増額
事業費補助	6,520,000	6,266,000	254,000	スポーツマスター事業(苫小牧市移管事業)
加盟団体補助	1,400,000	1,400,000	0	
スポーツ少年団補助	807,000	807,000	0	
氷上スポーツ育成事業補助	3,219,000	3,219,000	0	
スケートエンジョイスクール事業	2,270,000	2,270,000	0	
スピードスケート振興事業	300,000	300,000	0	
展示室整備事業	31,000	31,000	0	
広告フェンス取付事業	618,000	618,000	0	
全道・全国大会遠征費補助・国際大会出場奨励金スポーツ協会補助	15,490,000	0	15,490,000	苫小牧市移管事業
全国・全道スポーツ大会開催運営補助金スポーツ協会補助	1,350,000	0	1,350,000	苫小牧市移管事業
(2) 北海道	300,000	0	300,000	特定求職者雇用開発助成金(嘱託技術員)
6. 寄附金収入	1,500,000	1,300,000	200,000	
(1) 寄附金収入	1,500,000	1,300,000	200,000	スポーツ事業資金造成協賛会(しばれ焼き)他寄附金
7. 登録料収入	819,000	859,000	△ 40,000	
(1) スポーツ少年団登録料	819,000	859,000	△ 40,000	スポーツ少年団登録料の減
8. 負担金収入	286,000	300,000	△ 14,000	
(1) 加盟団体負担金収入	286,000	300,000	△ 14,000	加盟団体(35団体)負担金
9. 雑収入	721,000	1,000,000	△ 279,000	
(1) 受取利息収入・グッズ収入等	721,000	1,000,000	△ 279,000	グッズ販売の減
10. 基本財産収入	0	0	0	
(1) 基本財産収入	0	0	0	
11. 記念事業積立準備金繰入収入	0	0	0	
(1) 記念事業積立準備金	0	0	0	
12. 特定預金取崩収入	0	419,000	△ 419,000	
(1) 特定預金取崩収入	0	419,000	△ 419,000	退職予定なし
当期収入合計 (A)	371,729,000	348,848,000	22,881,000	
前期繰越収支差額	1,177,000	1,681,000	△ 504,000	
収入合計 (B)	372,906,000	350,529,000	22,377,000	

科 目	予算額	前年度 予算額	増減額	摘 要
Ⅱ 支出の部				
1. 公益目的事業	322,199,000	304,745,000	17,454,000	
公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業				
	22,430,000	19,272,000	3,158,000	
ア スポーツ大会開催事業	15,083,000	11,946,000	3,137,000	マラソン大会・スポフェスの負担金の増
イ スポーツ教室・講習会開催事業	7,347,000	7,326,000	21,000	スポーツマスター事業による増
公1-2 スポーツ普及のための人材登録・紹介事業及び、競技力向上等事業				
	1,582,000	1,582,000	0	
ア スポーツ人材登録及び紹介事業	127,000	127,000	0	TSPO人材バンク経費
イ 競技力育成強化等に関する事業	1,455,000	1,455,000	0	加盟団体助成金・講演会開催経費
公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業				
	20,220,000	3,420,000	16,800,000	
ア スポーツ大会参加奨励に関する事業	17,840,000	1,000,000	16,840,000	全道全国大会 遠征費助成金
イ スポーツ少年団育成事業	1,494,000	1,534,000	△ 40,000	少年団各種助成金の減
ウ スポーツ功績者表彰に関する事業	886,000	886,000	0	スポーツ表彰経費
公1-4 スポーツ(スケート競技)振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業				
	277,967,000	280,471,000	△ 2,504,000	
ア nepiaアイスアリーナ自主事業に関する事業	1,522,000	3,356,000	△ 1,834,000	スキルアップスクール事業見直しによる減
イ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業	1,913,000	1,604,000	309,000	教育旅行体験事業による増
ウ 施設の貸出に関する事業	274,532,000	275,511,000	△ 979,000	
nepiaアイスアリーナ管理運営事業	198,414,000	199,222,000	△ 808,000	消耗品費、燃料費の減
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ管理運営事業	76,118,000	76,289,000	△ 171,000	消耗品費、燃料費の減
2. 収益事業	57,000	57,000	0	
物販等事業	57,000	57,000	0	グッズ作成委託
3. 法人会計	47,184,000	43,399,000	3,785,000	
ア 管理費	47,184,000	43,399,000	3,785,000	
人件費	44,325,000	40,180,000	4,145,000	定期昇給、嘱託事務員報酬額の増額
物件費	2,859,000	3,219,000	△ 360,000	通信運搬費等の経費減
4. 固定資産取得支出	0	0	0	
ア 固定資産取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
5. 特定預金支出	1,844,000	1,609,000	235,000	
ア 特定預金支出	1,844,000	1,609,000	235,000	
特定預金支出	1,844,000	1,609,000	235,000	退職積立金(法人会計職員4人) ※他職員分はnepiaと沼ノ端の管理運営事業費より支出
6. 流動資産積立支出	1,322,000	0	1,322,000	
ア 積立金支出	1,322,000	0	1,322,000	
積立金支出	1,322,000	0	1,322,000	管理運営・退職手当資金
7. 記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	
ア 記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	
記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	将来の記念事業に向けた積立
8. 退職金支出	0	419,000	△ 419,000	
ア 退職金支出	0	419,000	△ 419,000	
退職金支出	0	419,000	△ 419,000	退職予定なし
当期支出合計 (C)	372,906,000	350,529,000	22,377,000	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 1,177,000	△ 1,681,000	△ 504,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	

令和7年度 正味財産増減収支予算書
2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	1,322,000	0	1,322,000
基本財産運用収入	0	0	0	0	0	0	0	1,322,000	0	1,322,000
事業収入	323,731,000	0	323,731,000	712,000	0	0	712,000	45,655,000	0	370,098,000
参加料収入	5,585,000	0	5,585,000			0	0	0	0	5,585,000
受講料収入	3,853,000	0	3,853,000			0	0	0	0	3,853,000
負担金収入	286,000	0	286,000			0	0	0	0	286,000
登録料収入	819,000	0	819,000			0	0	0	0	819,000
利用料収入	51,195,000	0	51,195,000			0	0	0	0	51,195,000
管理運営委託料収入	225,532,000	0	225,532,000			0	0	0	0	225,532,000
協賛金・補助金収入	34,961,000	0	34,961,000			0	0	45,655,000	0	80,616,000
寄付金収入	1,500,000	0	1,500,000			0	0	0	0	1,500,000
販売提供収入		0	0	712,000		0	712,000	0	0	712,000
自販機収入		0	0			0	0	0	0	0
受託事業収入		0	0			0	0	0	0	0
雑収入	300,000	0	300,000	0	0	0	0	9,000	0	309,000
雑収入	300,000	0	300,000	0	0	0	0	9,000	0	309,000
受取利息		0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	324,031,000	0	324,031,000	712,000	0	0	712,000	46,986,000	0	371,729,000
(2) 経常費用										0
事業費	344,134,000	0	344,134,000	479,000	0	0	479,000		0	344,613,000
役員報酬	1,584,000	0	1,584,000			0	0		0	1,584,000
給料	35,292,000	0	35,292,000	219,000		0	219,000		0	35,511,000
賃金	11,347,000	0	11,347,000			0	0		0	11,347,000
職員手当	20,118,000	0	20,118,000	125,000		0	125,000		0	20,243,000
職員共済費	9,082,000	0	9,082,000	56,000		0	56,000		0	9,138,000
報酬	17,622,000	0	17,622,000			0	0		0	17,622,000
退職金	0	0	0			0	0		0	0
嘱託手当	6,493,000	0	6,493,000			0	0		0	6,493,000
嘱託共済費	4,006,000	0	4,006,000			0	0		0	4,006,000
臨時手当	1,186,000	0	1,186,000			0	0		0	1,186,000
臨時共済費	531,000	0	531,000			0	0		0	531,000
報償費	6,374,000	0	6,374,000			0	0		0	6,374,000
退職給付費用	3,505,000	0	3,505,000	22,000		0	22,000		0	3,527,000
旅費	250,000	0	250,000			0	0		0	250,000
通信運搬費	815,000	0	815,000			0	0		0	815,000
光熱水費	108,700,000	0	108,700,000			0	0		0	108,700,000
消耗品費	4,894,000	0	4,894,000			0	0		0	4,894,000
備品購入費	2,924,000	0	2,924,000			0	0		0	2,924,000
原材料費	0	0	0			0	0		0	0
医薬材料費	0	0	0			0	0		0	0
食糧費	112,000	0	112,000			0	0		0	112,000
修繕費	6,205,000	0	6,205,000			0	0		0	6,205,000
印刷製本費	118,000	0	118,000			0	0		0	118,000
燃料費	23,768,000	0	23,768,000			0	0		0	23,768,000
委託料	28,377,000	0	28,377,000	50,000		0	50,000		0	28,427,000
手数料	730,000	0	730,000			0	0		0	730,000
保険料	759,000	0	759,000			0	0		0	759,000
使用料及び賃借料	4,127,000	0	4,127,000			0	0		0	4,127,000
租税公課	8,662,000	0	8,662,000	7,000		0	7,000		0	8,669,000
助成金	2,405,000	0	2,405,000			0	0		0	2,405,000
負担金	14,618,000	0	14,618,000			0	0		0	14,618,000
補助金	16,840,000	0	16,840,000			0	0		0	16,840,000
雑費	2,690,000	0	2,690,000			0	0		0	2,690,000
管理費								28,293,000	0	28,293,000
役員報酬								1,056,000	0	1,056,000
役員手当								51,000	0	51,000
役員共済費								176,000	0	176,000
給料								8,330,000	0	8,330,000
職員手当								4,748,000	0	4,748,000
職員共済費								2,144,000	0	2,144,000
報酬								3,790,000	0	3,790,000
退職金								0	0	0
嘱託手当								1,396,000	0	1,396,000
嘱託共済費								861,000	0	861,000
退職給付費用								827,000	0	827,000
福利厚生補助								130,000	0	130,000
旅費								179,000	0	179,000

交際費								50,000	0	50,000
広告料								50,000	0	50,000
消耗品費								190,000	0	190,000
食糧費								10,000	0	10,000
印刷製本費								30,000	0	30,000
通信運搬費								138,000	0	138,000
光熱水費								330,000	0	330,000
燃料費								103,000	0	103,000
委託料								672,000	0	672,000
手数料								312,000	0	312,000
保険料								151,000	0	151,000
使用料及び賃借料								410,000	0	410,000
備品購入費								0	0	0
租税公課								413,000	0	413,000
負担金								1,746,000	0	1,746,000
経常費用計	344,134,000	0	344,134,000	479,000	0	0	479,000	28,293,000	0	372,906,000
評価損益等調整前 当期経常増減額	△ 20,103,000	0	△ 20,103,000	233,000	0	0	233,000	18,693,000	0	△ 1,177,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 20,103,000	0	△ 20,103,000	233,000	0	0	233,000	18,693,000	0	△ 1,177,000
2. 経常外増減の部										0
(1) 経常外収益										0
記念事業積立準備金取崩益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										0
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	97,000		97,000	△ 97,000	0	0	△ 97,000	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 20,006,000	0	△ 20,006,000	136,000	0	0	136,000	18,693,000	0	△ 1,177,000
一般正味財産期首残高	△ 68,494,000	0	△ 68,494,000	3,887,000	0	0	3,887,000	71,607,000	0	7,000,000
一般正味財産期末残高	△ 88,500,000	0	△ 88,500,000	4,023,000	0	0	4,023,000	90,300,000	0	5,823,000
II 指定正味財産増減の部										0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	84,660,000	0	84,660,000	0	0	0	0	0	0	84,660,000
指定正味財産期末残高	84,660,000	0	84,660,000	0	0	0	0	0	0	84,660,000
III 正味財産期末残高	△ 3,840,000	0	△ 3,840,000	4,023,000	0	0	4,023,000	90,300,000	0	90,483,000

入力数値

経常外収益: 記念事業積立準備金取崩益 記念事業積立準備金 残高 **300,000** 3/31想定残高

他会計振替額: 収益事業から生じた利益の繰入額
 収益事業から生じた利益 233,000 から
 法人会計の管理費 28,293,000 のうち
 収益事業に按分される額を控除した額の50%を繰り入れる
 管理費の按分率 経常収益計 371,729,000
 予算書収入 371,729,000
 収益事業 / (公益目的事業費 + 収益事業等事業費)

$$= \frac{479,000}{344,134,000 + 479,000}$$

$$= \frac{479,000}{344,613,000} = 0.0014$$
 経常費用計 372,906,000
 予算書支出 372,906,000

収益事業に按分される管理費の額
 管理費 × 按分率
 $28,293,000 \times 0.0014 = 39,326$

収益事業から生じた利益 - 収益事業に按分される管理費の額
 $233,000 - 39,000 = 194,000$

この 50%
 $194,000 \times 50\% = 97,000$